



●この説明書は施工完了後、必ずお施主さまにお渡しください。

## ■施工上のお願い

●建具養生などの際、粘着テープ類(ガムテープ・養生テープなど)を表面材にじかに貼らないでください。建具表面が傷んだり、粘着剤がこびりついてとれなくなったりするおそれがあります。

## ■取扱い上のお願い

●室内外の温度差・湿度差が極端に発生しないようご配慮ください。エアコンやストーブなどの冷気、熱気が直接当たると、ソリが発生する場合があります。

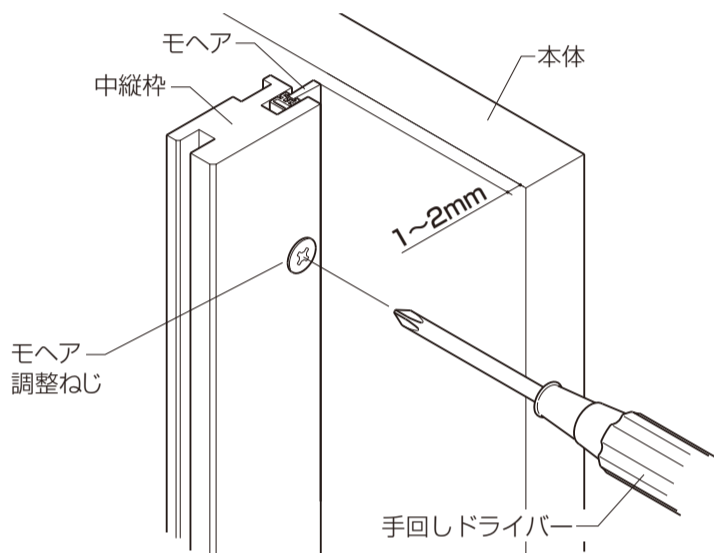
木質製品は、ソリが発生する場合があります。支障のある場合は建付け調整機能がありますので、下記ケースに応じて調整をお願いします。

**ケース 1** 片引戸中縦枠、もしくは本体同士が干渉している。

**ケース 2** 開閉が重い。

### 【調整方法】

#### ●中縦枠のモヘアの出寸法を調整する



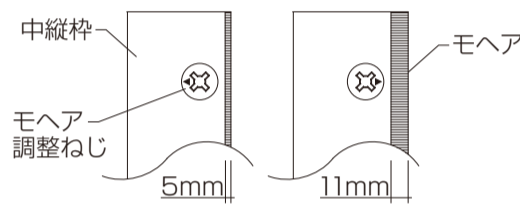
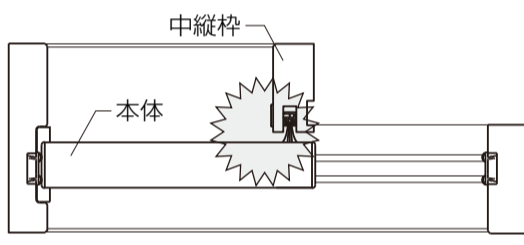
※本体とモヘアのすき間が1～2mm程度になるように調整してください。

出荷時には輸送時のモヘアの折れ曲がりを防ぐため、モヘアを最も引っ込めた状態で出荷しています。

- ①中縦枠のモヘア調整ねじを手回しドライバーで回してモヘアの出寸法を調整してください。
- ②調整後、本体とモヘアの先端が1～2mmのすき間が確保されているか確認してください。

本体と中縦枠モヘアが接触しすぎると、開閉が重くなります。

#### ●片引き・引分け



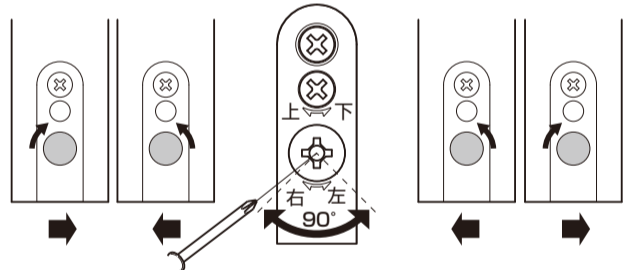
調整ねじの▲マークがモヘア側に向いている時がモヘアが最も出ている状態で、逆に向いている時が最も引っ込んでいる状態です。

#### ●扉の見込み調整をする

戸車の左右調整をします。

※本体は吊込んだままの調整となります。

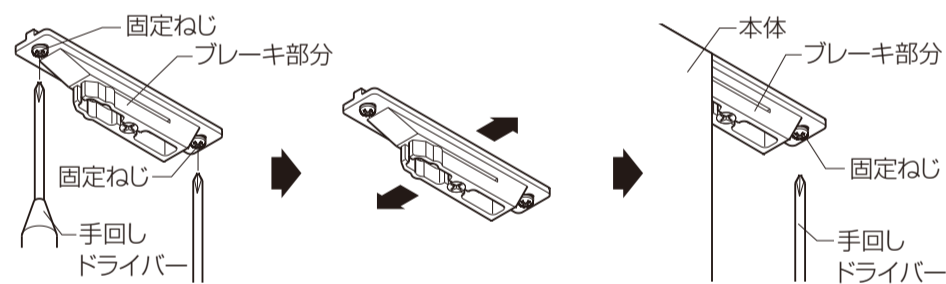
※手回しドライバー:90°の中での調整となります。右に本体を寄せたい時は、時計回りにねじを回し、左に本体を寄せたい時は、反時計回りにねじを回します。



**Point**  
●2枚の扉を均等に調整を行ってください。

#### ●ブレーキ部品の位置調整をする

(ブレーキタイプ、シングルソフトモーションタイプの場合)



固定ねじをゆるめたら...

ブレーキの左右調整が可能になるので

本体を途中まで閉じてねじを固定してください。

#### ●扉の高さを調整する

戸車の上下調整をします。

(引違いなどで扉同士の高さが合っていない場合は高さ調整をしてください)

※本体は吊込んだままの調整となります。



上に本体を上げたい時は、時計回りにねじを回します。

下に本体を下げたい時は、反時計回りにねじを回します。

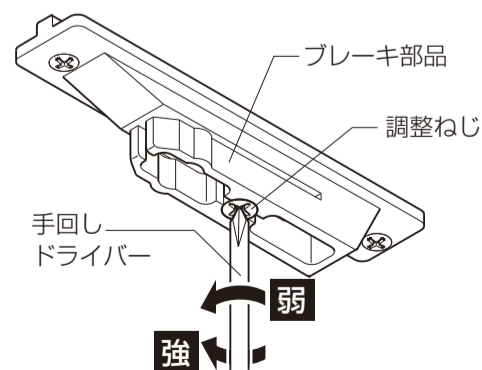
#### ●ブレーキ力の調整をする

(ブレーキタイプ、シングルソフトモーションタイプの場合)

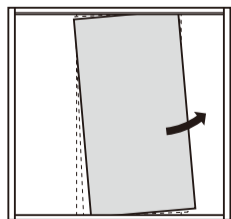
### 【ブレーキ力調整】

上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。

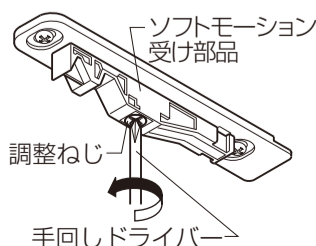
※調整ねじを弱方向に回す場合は、ブレーキの表面よりねじ頭を1.5mm以上出さないように調整してください。



#### ●本体のあおりを抑制する (ソフトモーションタイプの場合)



左記のように扉が閉まる際に、本体があおられ戸先が浮き上がってくる場合には、上レール内部に付いているソフトモーション受け部品の調整ねじであおりを抑制してください。  
※反時計回りにまわして調整してください。



調整前

調整後

